

【教育委員会議事録】令和5年9月定例会

開催日時	令和5年9月27日(水) 9:30~9:50
開催場所	下関市教育センター 3階中研修室
出席委員の氏名	磯部 芳規(教育長) 小田 耕一(教育長職務代理者) 吉村 邦彦 佐々木 猛 畚野 美香子
欠席委員の氏名	欠席なし
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名	教育部長 藤田 信夫 教育部次長 藤井 智 学校教育専門監 木下 満明 教育政策課長 門田 重雄 学校教育課長 大坪 勇一 教育指導監(生徒指導推進室長) 中尾 琢磨 教育研修課長 浦野 建太 学校支援課長 平本 万佐生 教育部参事(学校保健給食課長) 山本 泰造 生涯学習課長 岡部 勇人 文化財保護課長 濱崎 真二 教育部参事(中央図書館長) 江原 理恵 美術館長 岡本 正康 歴史博物館長 古城 春樹 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 松下 孝幸 下関商業高等学校事務長 三原 達郎 教育部参事(菊川教育支所長) 田坂 吉治 教育部参事(豊田教育支所長) 河崎 昌文 教育部参事(豊浦教育支所長) 異儀田 正康 教育部参事(豊北教育支所長) 永井 智志 教育政策課長補佐 倉前 啓介 教育政策課主任 吉富 守夫 教育政策課主任 田巻 美紗
傍聴人の数	傍聴人 2名

次第（目次）

【開会の宣告】	P 3
【署名委員の指名】	P 3
【教育長報告】	P 3
【議案】	
第41号 教育功労者表彰について	P 5
【報告事項】	
下関市・彦島町合併90年記念特別展 「巖流島—そして、島は決闘の聖地となった—」の開催について	P 6
【その他】	P 7
【閉会の宣告】	P 9

【開会の宣告】

磯部芳規（教育長）

皆さん、おはようございます。

それでは、ただいまから教育委員会 9 月定例会を開会いたします。

教育長及び在任委員の過半数が出席しておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 4 条第 3 項の規定により、会議の定足数を満たしていることを報告いたします。

【署名委員の指名】

磯部芳規（教育長）

本日の議事録の署名は、小田委員と畚野委員をお願いします。

（はい。（署名委員））

磯部芳規（教育長）

本日の日程は、日程 1 の議案が 1 件、日程 2 の報告事項が 1 件、日程 3 その他となっています。

【教育長報告】

磯部芳規（教育長）

それでは、議案審議に入る前に教育長報告を行います。お手持ちの資料をご覧ください。日程は、8 月 2 4 日から本日まででございます。

まず、令和 5 年度第 1 回下関市食育推進会議でございますが、こちらに出席させていただきました。「下関ぶちうま食育プラン」というものを作っているのですが、この「ぶち」という言葉が、とても懐かしく思っておりました。学生時代に「ぶち」って言ったら、「何か、それは。」と言われたことを思い出したりしながら、食育プランを検討させていただきました。

次でございますが、8 月 2 5 日に中学校、それから 8 月 3 0 日に小学校と、校長会より提言書をいただきました。また、先日、県の小・中学校長会からも提言書をいただきましたが、とても印象に残った言葉で、「たくましい」という言葉を、小・中学校の校長会等が使われております。県では、「たくましい『やまぐちっ子』の育成に向けて」というような感じで、「たくましい」という言葉、これを今、これからの教育では、また使っていくことが多いのではないかなというふうに思っております。かつて、「たくましい『防長っ子』」と言われていた言葉があるのですが、これが「たくましい『やまぐちっ子』」になっております。これから教育委員会としても、「たくましい」という言葉が一つのキーワードになってくるのかなというふうに思っております。

また、8月28日は教育長協議会に出ましたが、こちらでは、大きく2点ほどが、特に各市も注目されている、という感想を持っております。1点は不登校に関して、もう1点は部活動に関してです。特に、部活動の方に力が入っていたように思いますが、下関市においては、スポーツ振興課がD-sportsをスタートしていますので、教育委員会としてもしっかり協力はしていきたいなというふうに思います。子供たちの部活動についても、新しい動きが始まっております。

8月28日ですが、下関くじら食文化を守る会の総会等も行われております。くじらとフグとアンコウといったことで、食文化を守る会の方では、いろいろ本等ができるということを知っておりますので、またご紹介をしたいと思います。

8月29日、9月4日、9月8日と、これらは小・中学生の動きを、ご紹介でございます。それぞれ、8月29日は英語暗唱・弁論大会、9月4日は海響あーとコンテスト、9月8日は下関歴史マップの審査であるとか、こういうものを目にすることがございました。ここで皆さんにご報告ですが、下関の小・中学校の児童・生徒のレベルというのは、本当に高いのではないかなと思っております。私、下関以外の地域の学校にも行きましたが、決して下関の子供たちは、レベルは低くありません。すごいなと思って見ております。特に、小学生の歴史マップを見たときに、これはまたご覧になる機会もあると思いますが、もうびっくりして、こんなにすごいのかと思いました。と同時に、これから教育委員会としては、地域の伝統や文化、こういったものをしっかりとこれからも伝えていく、そのような機会をぜひ持っていききたいなと強く感じております。本当にすばらしい小・中学生が育っているなと思って、各学校の現場に本当に感謝をいたしております。また、担当しております各課におきましても、本当にありがとうございます。

それから8月31日は、波佐間元教育長とお話する機会もありました。勉強させていただいております。私も、これからもっと学んでいきたいなというふうに考えておりますが、いろいろなアドバイスをいただいております。

8月31日、9月1日等、学校訪問をさせていただいておりますが、議会も終わりましたので、少し時間があります。これから時間が空いた時には、各小・中学校等、現場の方にしっかりと出向いて行って、子供たちの様子、また現場の声、悩み等もあわせて聞いてまいりたいなと思いますので、また、その都度ご報告いたします。

それから9月3日でございますが、和船模型贈呈式ということで歴史博物館に行きましたが、本当に素晴らしいものを見させていただきました。こういった下関のすばらしい博物館等はいっぱいありますので、こちらも小・中学生や高校生に、ぜひ足を運んでもらうように呼びかけていきたいなというふうに思っております。

9月は中学校、小学校もでしょうか、運動会があります。こちらにつきましても、皆さん、もし足を運ばれることがありましたら、ぜひ見ていただきたいと思います。私、中学校を見に行きましたが、だんだん中学校の方も短い時間でやる関係で、子供たちにさせるということが本当に具体的に出てきているなというふうに思います。子供たちが考えて行動するというのをテーマに、しっかりとこれからやらせていきたいなと。先生の方がアドバイスするのではなく、初めから子供たちに考えて行動させる、こうすれば短い時間でもいいものができる、働き方改革に繋がる、そのような感想を持ちながら見させていただきました。

そして、昨日まで議会に出席させていただきました。議会では、いろいろな質問がありました。不登校の問題や遊具の問題等もありましたが、いろいろな面で、今から学校の現状を聞いて、また議員さんたちのご指摘を受けながら、改善に向けて頑張っていきたいなというふうに思います。私たちがこれから考える本当にいい議題を与えていただけたらというふうに思います。子供たちが明るくて、本当に楽しいなと思ってくれる、わくわくする学校になってくれると本当にいいなと思いつつながら、議会にも出席させていただいたところがございます。

そして、昨日ですが、小学生が N コンという合唱の全国大会に行きますので、一曲聴かせていただきました。熊野小学校でございますが、本当にすごいレベルでびっくりしました。

下関には熊野小学校、勝山小学校を中心に、すごい合唱があるということで、こちらも皆さんにぜひ聴いてもらいたい、そんな機会があればいいなと思いつつながら、聴かせていただきましたので、ご報告させていただきます。以上でございます。

ただいまの私からの教育長報告に何かご質問等はございますか。

(ありません。(全員))

磯部芳規 (教育長)

ないようでしたら、日程 1 の議案審議にまいります。

【議案審議】

議案第 4 1 号 教育功労者表彰について

磯部芳規 (教育長)

議案第 4 1 号「教育功労者表彰について」教育政策課、門田課長お願いします。

門田重雄 (教育政策課長)

教育政策課の門田です。よろしくをお願いします。

それでは、議案第 4 1 号教育功労者表彰についてご説明いたします。資料 2 ページをお願いいたします。

本件は、下関市教育委員会表彰規則第 7 条の規定に基づき、教育功労者を決定し、表彰しようとするものでございます。この度は、毎年 1 1 月に実施しております規則第 4 条第 1 号の定期表彰にかかるものです。

表彰者は功績表彰が 3 4 名、永年勤続表彰が 8 名の計 4 2 名となっております。表彰者のお名前、功績要旨につきましては 3 ページ以降の資料をご参照願います。

提案理由については、議案に記載のとおりでございます。

今回の表彰者については、8 月 2 4 日に選考委員会を開催し、その中で教育委員会表彰規則、内申調書及び内規等に照らして適当であるとされたものでございます。

説明は以上です。ご審議の程、よろしく願いいたします。

磯部芳規（教育長）

それでは、ご質問、ご意見があればお願いいたします。

（ありません。（全員））

磯部芳規（教育長）

特にならなければ、議案第41号について承認としてよろしいですか。

（はい。（全員））

磯部芳規（教育長）

それでは、承認といたします。

日程1の議案審議は以上です。

【報告事項】

下関市・彦島町合併90年記念特別展「巖流島—そして、島は決闘の聖地となった—」の開催について

磯部芳規（教育長）

続きまして、日程2報告事項に入ります。

「下関市・彦島町合併90年記念特別展『巖流島—そして、島は決闘の聖地となった—』の開催について」歴史博物館、古城館長お願いします。

古城春樹（歴史博物館長）

歴史博物館です。よろしくお願いいたします。

特別展「巖流島—そして、島は決闘の聖地となった—」の開催についてご報告申し上げます。資料は12ページです。お手元のチラシも併せてご覧ください。

本展は、下関市と彦島町との合併90周年を記念し、江戸時代初期に行われたとされる宮本武蔵と佐々木小次郎の決闘とその伝播に加え、近世から近現代にかけての巖流島の歴史を紹介するものでございます。

会期は、本年10月6日（金）から12月3日（日）までで、観覧料は一般700円、大学生等は400円となっております。

初日10月6日には、開会式を執り行う予定としております。開会式には、教育長にご出席いただくほか、このたび貴重な資料をご出品いただきました、一般財団法人松井文庫理事長の松井葵之様にも、ご臨席を賜る予定としております。肥後細川家の筆頭家老、松井家の14代当主になられます。

会期中は、「船島から巖流島へ—島の変遷をたどる—」と題した講座も開催いたします。ご観覧、ご周知の程、よろしくお願いいたします。報告は以上です。

磯部芳規（教育長）

ご質問、ご意見があればお願いいたします。はい、佐々木委員お願いします。

佐々木猛（教育委員）

ご報告ありがとうございます。

彦島の住民としては大変嬉しく、そしてすごく期待をして楽しみにしています。

前回もご報告いただいたのですが、彦島自治会の方々からも少しお話が出ていて、関彦合併90周年記念の特別展ということで、こういう企画をしていただいて非常に自治会としても嬉しいということをおっしゃっていました。

ただ、公民館にはチラシを毎回置いていただいているのですが、昨今、学校の中でも、地域連携、郷土愛を育むということで、地域の方々と連携をしていながら、一生懸命地域のことを学んでいるところがあるので、ぜひこういう教材等もあれば、また特に関彦合併となれば、彦島の小・中学校の児童生徒の方にも、例えば一人ひとりにチラシを配付する等していただけたら、一緒になって郷土愛を育めるのではないかなと思います。

また、自治会の方が話していたのですが、こういうのを機会にして、また古城館長さんの講演も開きたいということで、ご挨拶に行きたいと思うと言っていましたので、あわせてよろしくをお願いいたします。

磯部芳規（教育長）

ほかはよろしいでしょうか。

（ありません。（全員））

磯部芳規（教育長）

それでは、本件について、報告済みといたします。

以上で、日程2報告事項を終わります。

【その他】

磯部芳規（教育長）

続きまして、日程3その他ですが、まず、8月教育委員会定例会で吉村委員からありました、夏休み明けの各学校での子供の変化に関して、生徒指導推進室よりお願いします。中尾室長、お願いします。

中尾琢磨（教育指導監（生徒指導推進室長））

生徒指導推進室長の中尾です。よろしくをお願いいたします。

夏休み中の状況もあわせてご報告したいと思います。

まず、夏休み中の児童生徒の様子についてです。補導等、夏休み中の様子について、青少年補導委員の報告によると、生徒の非行行為を注意した事案はなかったということです。あわせて、各学校との情報共有の中でも、非行が気になる生徒はいるものの、状況が特別に悪化したので対応した等の報告はなく、総じて非行等の問題行動で、夏休み中に緊急対応を行った事案はありませんでした。

続いて、夏休み明けの様子です。夏休み明けの様子のうち、服装や髪型等、そういった生活の乱れについて、まず説明をします。市全体で、2学期開始時に、それまで見られなかった服装や髪型の変化や乱れがあった生徒は、ほとんどおりません。数名、気になる生徒もいますが、今、各学校で丁寧に個別の対応を行っている状況です。

あわせて、精神的な部分、精神的に不安定になった様子、そういったものが見られた児童生徒も若干名おりますが、学校と市教委とで連携しながら、スクールカウンセラーによる対応など、個別の支援を継続しているところです。

続いて不登校ですが、ご承知のとおり、ここ数年来、不登校児童生徒数は増加傾向にあります。1学期に10日以上欠席があつて、不登校として各学校から報告があつた人数は、小学校で約250人、中学校で約410人となっており、昨年度同時期の同じ調査と比較すると、小・中学校ともに、約90人増加しています。

続いて、今年度2学期初めの8月24日から31日の6日間に、3日以上欠席して、不登校の傾向があるとして市教委が報告を受けた人数は、小学校で約100人、中学校で約280人でした。この数字は、昨年度同時期の報告と比較すると、小学校では約10人の減少、中学校では約20人増加となっています。依然として、不登校児童生徒の増加傾向を止めることができておりませんが、個別の対応を丁寧にやっけていながら、各学校、教育委員会も加わって、個別の支援を継続しているところです。以上です。

磯部芳規（教育長）

ありがとうございました。はい、吉村委員お願いします。

吉村邦彦（教育委員）

ご報告ありがとうございます。

もう毎日のように全国でいじめ重大事案とか、いろんなことが起きています。日常的に先生方の関わりというのも非常に重要だと思いますが、今からやはり地域、それからご家庭での環境というのも、非常に大きいと思います。数字だけ見ると減っている、増えている、ということでしょうが、これが一人ひとり個別なので、なかなか対応は難しいと思いますが、地道に、教育委員会を挙げて、学校と協力しながら進めていければいいなと思います。

それからもう一つ気になるのは、やはり夏休みが明けてから、学級閉鎖や学年閉鎖が非常に増えてきています。この時期に、インフルエンザが流行するというのも非常に珍しいケースで、先ほど畚野委員に確認したところ、やはりコロナが流行った時期に、インフルエンザの予防接種を受けなかったり、マスクをして予防したりしていたので、免疫力が非常に落ちているということで、かかる児童生徒が多いのではないかというふうなことでし

た。基本的なことですが、ぜひ学校の方に、手洗いうがい、それから栄養をちゃんと取る、給食をきちんと食べる、夜ちゃんと睡眠を取る、というようなことのご指導をお願いできればと思います。あと、皆様方もぜひ、我々も含めて気をつけていきましょう。今のコロナは非常に重篤化するみたいなので、僕の友人も先月かかって2週間ぐらいダウンしていました。そのうち1週間は38度、39度の熱がずっと出ていて、今もまだ味覚が戻ってないようで、ひどい人は本当にひどいみたいなので、ぜひ気をつけていきましょう。よろしく申し上げます。ありがとうございます。

磯部芳規（教育長）

ありがとうございます。それでは、ほかにございませんか。

（ありません。（全員））

磯部芳規（教育長）

なければ、次回の日程ですが、10月の教育委員会定例会は、10月26日（木）午前9時30分、下関市教育センター3階中研修室にて開催の予定です。委員の皆様、よろしいでしょうか。

（はい。（全員））

【閉会の宣告】

磯部芳規（教育長）

これで、本日の議事はすべて終了いたしました。これにて、定例会を終了いたします。ありがとうございました。お疲れ様でした。

（お疲れ様でした。）

署名

教育長

署名委員

署名委員

作成職員